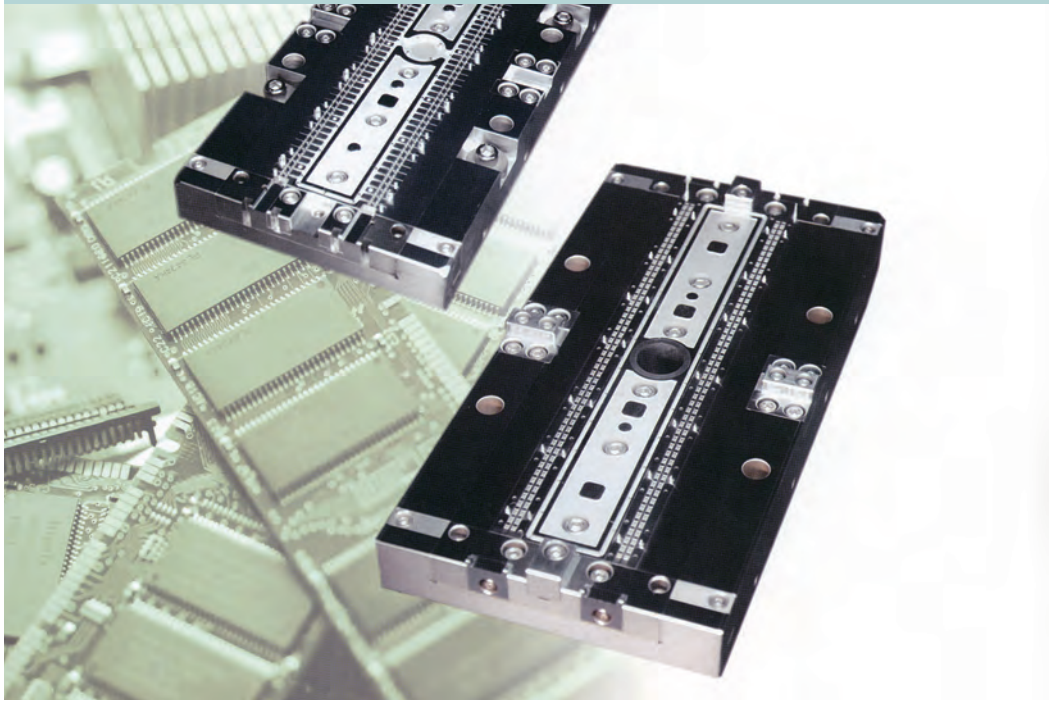
エイシンテクノ 株式会社

「硬質クロムしかできません」特化型めっき企業

納期相談
企画力自信有
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット



半導体封止金型など微細形状へのめっきに自信有り

業務内容 硬質クロムのスペシャリストとして存在感

硬質クロムに特化しためっき企業。高尾優作専務の「硬質クロムめっきしかできません」との言葉と笑みには、専業の強みと自負が覗かれる。強度や耐摩耗性を高める硬質クロムめっきの需要は少なくないが、通常は複数種のめっきで顧客の間口を広げ、経営の安定を図るめっき企業が多い。

「エイシンテクノ」は逆に硬質クロムめっきを極めることで存在感を高めてきたスペシャリストだ。硬質クロムめっきのみにもかかわらず、工場内には調合タンクが7台。自社でめっき液の配合を考案し、電極や治具まで内製することで多様な顧客ニーズに対応している。

強み 膜厚1㎛ができる全国有数の企業

半導体封止金型や樹脂・ゴム金型、医薬品などの打錠金型など寸法精度や微細形状対応が難しい金型へのめっき依頼が多い。硬質クロムめっきの一般的な公差は数十㎛だが、同社は膜の厚さ1㎛に対応し、2㎛、3㎛と1㎛刻みでめっきできる全国有数の企業である。

加えて均一性が高い膜厚でもユーザー評価が高い。薄めっきは処理後のバリ取り工程が不要なため精密機械分野においても広く普及。蛍光X線膜厚測定器による緻密な品質管理体制を敷き信頼性を確保している。

複雑形状 機械部品や半導体金型 微細な凹凸も均質めっき

強みは膜厚の薄さや均一性だけでなく、形状対応でも発揮されている。めっき槽内に流れる電気を、複雑形状部品のすみずみへ均一に届ける電極の設計と設置位置に他社にはないノウハウを持つ。

1つのワーク（対象物）に凹部や凸部、V型や丸みのある山型など複数種の形状・大きさがあっても、確実にめっき処理ができる。半導体封止金型では封止材料が流れる微細なランナーゲートまでもめっきすることが可能。高精度半導体の金型の耐久性を高め、エレクトロニクス業界の生産性向上に貢献している。

今後の展望 ユーザーの固定概念を壊す展示会に注力

硬質クロムめっきはマイクロメートル単位の薄膜や複雑形状対応ができない、均質性がとれない、光沢感が出ない―。インターネットではそういった情報も散見する。高尾専務は「情報を鵜呑みにして、コーティングなど別手法を検討するユーザーは損をしてしまう」と惜しむ。

このため近年、注力しているのが展示会だ。めっきした素材を直に見てもらい、薄膜・複雑形状への対応や、バフ研磨なしでどこまで光沢を出せるかなど「『エイシンテクノ』の硬質クロムめっきならここまでやれる」ことを知らしめ、ユーザーの固定概念を徐々に壊し、市場を開拓している。

精密機械部品

ゴム成型金型

当社の歴史

大阪29 ISO 9001 ISO 14001

創業51年を迎える、硬質クロムめっき専門企業です。マニアックな職人が多く、彼らにとってめっきは“作品”。治具や電極の設計からめっきまで責任を持って1人で仕上げ、未着や膜のばらつき、ハナサキ（角部の析出）、光沢不足を、薄膜・つきまわり（均一電着性）・光沢感で解消します。

代表取締役社長 **高尾 泰伸**さん

http://www.eishin.com/

主な事業内容
硬質クロムめっき

主な取引先（納入先）
半導体メーカー、
家電メーカー、
医療機器メーカーなど

●住　所　〒577-0065 東大阪市 高井田中2-2-22
●TEL　06-6781-2222
●FAX　06-6781-2223
●創　業　昭和41年9月
●設　立　昭和41年9月
●資本金　1,000万円
●従業員　18名